



一中だより

浜田市立第一中学校学校便り 第8号
令和5年12月20日(水)

〒697-0024 浜田市黒川町3745
TEL 0855-22-0946
FAX 0855-22-0947
E-mail dail@hamada.ed.jp



2学期を振り返って

校長 川田 英樹

今年も早いもので師走のたよりとなりました。季節の移り変わり、時間の流れの早さを感じます。先日、「浜田市図書館を使った調べる学習コンクール」の表彰式がありました。小学校から12作品、中学校から4作品が優秀賞として表彰され、全国大会に出品されます。「知りたいこと・地域課題など動機が明確である」「仮説、予想、資料の選択、まとめと情報活用能力が優れていた」などの講評がありました。本校から2年下石見葵さん「1冊の本の行方～本は巡る。たとえ、姿を変えたとしても～」、2年藤田真羽さん「浜田市の人口減少は食い止めることができるのか?」、3年堂原真菜さん「性別の壁～LGBTQ+の人が生活しやすくなるために～」3名が受賞しました。1、2年生の人は来年、チャレンジしてみてください。

10回 浜田市図書館を使った調べる学習コンクール 表彰式



始業式で、「2学期は、『表現する力』を高めることを目標に、体育祭や合唱コンクールで集団の力を発揮し、自分の思いを表現してほしい」とお願いしました。2つの学校行事を通して、学級の団結力が高まり、仲間との絆、全校生徒の絆が高まったと思います。また、各学年でも大きな行事がありました。

【1年津和野校外学習】9月28日 生徒の感想

- 「古きよきものを大切にすること」を大事にしているのが津和野のよさだと思った。
- 地図を見たり、時計を見たりしながら班で協力して行動することができた。

【2年修学旅行】9月27日～29日

- 2年生は、修学旅行での思い出や学んだことを新聞にまとめ、山陰中央新報社第12回しまね小中学生新聞コンクールに出品しました。（「京都はなぜ和風なのか」井上美海さんの作品です）

【3年職場体験学習】9月27日～29日 事業所から

- 挨拶、人の話を聞くなど、個人の目標を意識していることが感じられた。
- 分からないことは質問したり、確認したりと、誠実で懸命に取り組んでいる姿がうかがえた。

それでは、今年も残すところわずかになりました。新型コロナウイルスが感染症法上、5類に移行されて日常を取り戻しつつあります。しかし、コロナ禍3年間の代償はいろんなところに影響を与えています。人との関わりが制限され、学校生活をみても人間関係のトラブルが増えてきています。そこで「おかげさま」の言葉を意識した年末年始を迎えてほしいと思います。語源は、すでに亡くなられて、この世にいないけれども、そういう陰に隠れている人たちに支えられて私たちは生きているということです。私たちは、親、先生、友だち、地域の人と関わりあって生活しています。たくさんの人のお世話になって生きています。自分が生きていけるのはみんなのお陰だと感謝して、「おかげさま」があふれる学校にしていきたいと思います。



赤い羽根共同募金

今年度も福祉委員会による赤い羽根共同募金の活動を行いました。11月18日の終礼で、各学級の福祉委員がドラえもん募金箱を配り、募金の呼びかけをしました。実際の募金活動は28日、29日の朝、昇降口で行いました。生徒の皆さんの協力で、17,109円の募金が集まりました。集まった募金は、12月7日に福祉委員長の大前友理香さんと福祉副委員長の桃木甚太郎さんから浜田市社会福祉協議会へ渡しました。集まったお金は災害への支援や浜田市の福祉活動に使われるそうです。

保護者の皆さんにも募金に協力いただいたのではないかと思います。ありがとうございました。

(福祉委員会担当 新田)

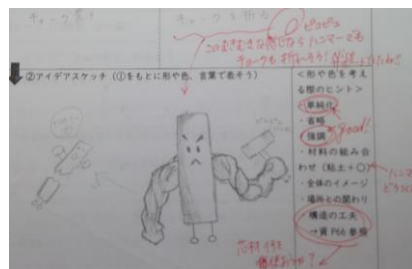
授業づくりの取組から

今年度本校では、「見通し」と「振り返り」を大切にし、一人一人が問いを持てる授業づくりに努めてきました。美術の研究授業の様子を紹介します。完成まで見通しをもちながら制作が進められるよう工夫したワークシートを使って、生徒と先生がコメントのやり取りをしながら制作を進めている授業が公開されました。ワークシートをもとに、生徒どうしても「こうしてみたんだけど、どうかな？」など自然とアドバイスを求めあう会話が交わされ、友達と対話しながらも各々自分の作品と向き合っている姿がありました。

また、授業改善の取組として家庭学習につながる授業づくりも行ってきました。家庭で事前に調べたり考えたりしてきたことを生かした授業を行ったり、授業で学習したことを家庭で確認するような課題提示を行い、その後しっかりと定着したか確認テストを行ったりして家庭での学習も評価につなげています。授業では新しい知識を得たり、じっくり考えたり、意見を交流したりすることを中心にしています。ワークを活用して理解を確認する、応用問題に挑戦するなどして力を伸ばすような家庭学習をするよう促しています。

ご家庭でもお子さんの様子を見守り、お声がけなどご協力くださるようお願いいたします。

(研究主任 遠藤)



生徒のアイデアスケッチ

一中校区小中（一中,石見小,三階小） 連携教育を行っています

今年度、発達段階に応じた9年間を見通した取組を推進するため、「心の教育部会」「生活習慣部会」「交流部会」の3つの部会を設けて小中連携教育に取り組んでいます。このうち、交流部会では、放課後あそび隊や交流授業・部活動体験、小中図画・美術作品交流などを通し、小中学生の交流を促し、縦の関係づくりを行いました。中学生が、小学生の様子やニーズを感じ取りながら、リーダーシップをとって関わる姿は中学校内ではなかなか見られないところでもあります。教員も、生徒たちのそのような姿を見取ることで生徒の多面的な理解にもつながっています。こうした取組を通して、さらに地域の活動にも小中学生が進んで参画できる土台となることを期待しています。

(教頭 小松原)



冬休みを迎えるにあたって ～地域で育む子どもたち～

冬休み前に配付するプリント「冬休み 生活の心得」には、家庭での生活、校外での活動、メディア（スマートフォン・パソコン・ゲーム機・TV等）に関することに併せ、「三階小・石見小・松原小・一中共通の取り決め」を掲載しています。学期末には、ほとんどの小・中学校が長期休業中の生活に関するプリントを配付しますが、一中校区のように小・中学生共通の約束事を決めてプリントに記載する例はあまりありません。普段以上に家庭や地域で過ごす時間が長くなる分、お子様、そして地域の子どもたちをしっかりと見守っていただければ幸いです。

～三階小・石見小・松原小・一中共通の取り決め～

- ・知らない人に誘われてもついて行かない。また、電話などによる誘いかげや呼び出しには絶対に応じない。
- ・外出時には、行き先や帰宅時間を家族に明確に伝えておく。
- ・外出は、部活動等を除き午前9時半から午後5時までとする。
- ・交通規則を守り、自他の安全に気をつける。自転車に乗る時はヘルメットを着用する。
- ・インターネット上のトラブル(SNS、オンラインゲーム等)に巻き込まれないように、あらかじめ保護者と相談し、家庭での約束を守って使用する。

心と身体をしっかりと休め、新学期を笑顔で迎えてほしいと思います。そのためにも、休業中も規則正しい生活ができるよう、お子様の体調管理をお願いします。

(生徒指導主事 段)